

【ゆどばたNo.16】

2/20に決まった診療報酬改定で、透析医療の質が大きく低下するのではないかと危機感を募らせている今日この頃です。

さて、高齢者の生活に変化をもたらした制度の一つに公的介護保険があります。国民の根強い介護ニーズと合わせて、老人医療費削減も目論んで創設された介護保険の導入によって、40歳以上の国民は新しい保険料を支払うことになりました。しかし、保険料を支払っても、受けたサービスを受けられるわけではありません。通院の移送サービスがその一つです。



★ 介護保険で増えた？ 変わった？ 通院手段の選択肢 ★

介護保険制度が施行されて間もなく2年が経とうとしています。

この間に、移送サービス関連では「介護保険適用の介護タクシー」や「訪問介護事業所による白ナンバー送迎（名づけて車つきヘルパー）」など新しい担い手も出てきました。

しかし、それらをめぐる国や自治体の対応は大変複雑で、利用者やサービス提供者の間で混乱が生じています。

「通院介護支援事業」の実施団体や全腎協加盟県組織からも、これらのサービスの出現によって、ボランティア送迎や患者の通院に影響が出ているという情報が届いています。

* * *

■北海道旭川市■

介護保険の対象となっている患者さんが介護タクシーをするようになり、「たいせつ旭川」の利用者は介護保険対象外（若年）の人が増えた。

■秋田県秋田市■

市内に介護保険適用の介護タクシーが2社ある。「スワン」は降雪期は活動しないので、タクシーが利用できれば、冬でも安心。

■神奈川県川崎市■

介護保険の訪問介護事業所と連携して利用者を送迎している。ヘルパーさんと一緒に送迎して、訪問介護事業所から送迎の費用の一部を出してもらうしくみです。

■新潟県小千谷市・北魚沼郡川口町■

「いわゆる介護タクシー」が小千谷市にできた。当初は一律210円だったが、隣町の川口町は「送迎距離が長い」という理由で、途中から費用が上がった。生活の苦しい利用者にとっては210円は大助かりだったが、今は困っている。

■愛媛県■

訪問介護と移送を一緒に行う介護保険の事業所に対して、県が厚生労働省以上に厳しい。

「いわゆる介護タクシー」も「ヘルパーの白ナンバー送迎」も透析の利用者がいるので、県の対応が打ち出されるたびに、事業者やケアマネが困っている、また消極的にならざるを得ない。

* * *

添付の「東京交通新聞」では、介護保険施行5年後の見直しに向け、厚生労働省が「介護移送」の調査を行うことが書かれています。厚生労働省は、依然として否定的な見解を崩していませんが、移送サービスへのニーズが高いことは認識しているようです。

「移送サービス」が介護保険給付の対象になれば、現在高いタクシー代を払っている高齢者（糖尿病性腎症は40歳以上）は安価で安心して通院できるようになるはずですが。

医療保険も介護保険も、病院や施設にたどり着けばサービスを受けられますが、そこに行く手段はまったく保障していません。市町村からは「保険料が高くなるから移送サービスは行わない」「給付額がかさむから県が勝手に介護タクシーに指定を出されては困る」という意見さ

え出されています。

2005 年の介護保険見直しに向け、通院が不

可欠な私達透析患者の声を集め、国や自治体に届けていきましょう。

トピックス

すずらの会・新事務所開設

東京都練馬区にある「すずらの会」は、2 / 4 から新事務所を開設しました。

従来の事務所（個人宅）も使い続けますが、会員さんやボランティアさんが、いつでも気軽に集まれる場所を確保するためにマンションの一室を借りました。送迎ボランティアは、日頃は一人で活動しているので、気づいたことを話し合ったり、お互いの様子を知る機会が増えるといいですね。

※事務所を移転するとNPOの定款変更など手続きが必要なので、連絡先は今まで通りです。

「ボランティア・スクエア21」で大賞！ ジャスミン

1 / 20、兵庫県社協などが主催する「ひょうごボランティア・スクエア 21」が開かれ、「こつつコース」で神戸市の「ジャスミン」が大賞を受賞しました。

このイベントは、県内で活動するボランティア団体や市民グループなどの取り組みを支援するもので、優れた企画や実績を選ぶ「元氣アップワード」と、パネルや資料を展示して市民投票する「こつつコース」の2部門があります。

「ジャスミン」は賞金として、何と 20 万円をもらいました！ これも日頃の活動の成果ですね。

ふれあい大切に、模索しながら・BGM

生涯学習フェスティバルに参加、活動の様子等を掲示する交流会（利用会員 4 人、ボランティア 6 人で参加）を開きました。カラオケを通して利用者同士のふれあいがあり、楽しく過ごしてもらって喜ばれました！

その他、定例会（9 人参加で忘年会）も開きました。利用希望者があったので、今のボラン

ティアの中で受けられるかどうか相談しましたが、一部のボランティアさんにしわ寄せが行ってしまいます。各自のボランティア意識の違いがあり、なかなか難しい…。

運転協力者実技研修で振り返りを

2/10 に、東京ハンディキャブ連絡会と東京ボランティア・市民活動センターの共催で、移送サービスの運転担当者を対象にした実技研修が行われました。

都内の運転免許試験場に移送サービスの運転経験が 3 年未満の 30 人余りが集まり、午前中は講義、午後は福祉車両の実技研修を受けました。実技研修では、2 人一組になり、一人が運転者でもう一人が利用者という設定で、福祉車両の乗降と運転を実際に行いました。

福祉車両はリフト車やスロープ付きといった違いだけでなく、年々技術革新が進んで操作方法も変わってきています。そのため、普段使っている車両としくみが違って戸惑う声が聞かれましたが、「車いすをしっかりと固定する」という基本は同じです。

様子を見に来て下さった警察庁の方からは「ブレーキ操作に十分に注意を」「乗降時は車の周辺(近づいてくる車)に気をつけて」とコメントをいただきました。車いすに乗ったまま車に乗ると運転席との距離が予想以上にあり、寂しさを感じます。また、車の揺れが大きく感じられたり、車いすのシートがビニルなので服が滑ったり、乗ってみないと分からないことがたくさんあります。熟練ボランティアさんや車両メーカーの方からは、車のドアを勢い良くしめると車内に圧がかかって鼓膜の弱い高齢者には危険であるといったアドバイスもあり、大変勉強になりました。

◆ ◇ ◆ 聞いて！聞かせて！みんなのつぶやき ◆ ◇ ◆

実施団体から寄せられた 12・1 月の「活動状況」を基に各地の事情を掲載します。読者の皆さんの反響をお待ちしています。今までの「つぶやきコーナー」も引き続き募集中です。

山形県腎友会「立ち上げ準備は大変だ～」

山形県腎友会では、4 月に送迎を始めるべく、立ち上げ準備を進めています。「たとえ 1 人か 2 人でもとにかく始めよう」と準備を始めたのが、昨年夏、最近では、週 1 回のペースで準備委員会を行っています。

でも、利用者からの費用のもらい方や金額など細かいことを決めるのも結構大変な作業です。「案ずるより産むが安し」「産みの苦しみ」どちらもその通りなのかもしれません。

寒いけど頑張ってます・たいせつ旭川

NHK 放送局より通院支援ボランティア募集のニュースを流していただいた結果、ボランティアの申込みがありました。

透析患者は介護保険利用(タクシー)ができ、依然と一般障害者の通院の足になっております。利用者の方には大変喜ばれており、今後もこの様な形で活動を続けたいと思っております。

連日のマイナス気温と積雪の中、ボランティアの方々の善意に支えられ、休止することなく運行いたしております。

活動通して腎友会見る!? コスモスの会

利用者は、透析者以前に、老齢である。腎友会活動の説明解説よりも、まず、満足に透析に通院することを介添えすること。新規申し込みの度に腎友会活動の日陰の場所が多いことを痛感している。

運転ボランティアの絶対的不足の改善が課題。加えて利用者の利用者としての「心」の課題。運送営業ではないことをどのように認識してもらうか。市のボランティア関係広報誌に募集広告を掲載し、広く市民にボランティアの必要性を訴えたい。

「会」として、車いす送迎の車両を調達したいが、地域配分の問題や調達車両の数、資金的な問題があり、頭が痛い。

ほほえみ佐世保・患者会員の協力もほしい

第 2 回ボランティア研修会を開催。今回は、元気な透析患者の勉強会と合わせて、ボランティア研修を行いました。

ボランティア登録をお願いしましたが、反応はあまりなし。ボランティア不足が続いています。社協の新聞に定期的に募集を載せてもらっているので、期待はしているのですが…。

◆ ◇ ◆ 添付資料のご案内 ◆ ◇ ◆

① 第14回移送サービス研究協議会 ～開催案内と申込用紙～

毎年、東京都社協と東京ハンディキャブ連絡会の共催で行われている非営利移送サービスの会議。例年、首都圏を中心に、全国から実施団体役員や社協職員、行政担当者などが参加しています。

3 / 10 午前の第 2 分科会では、透析施設関係者から「病院による患者送迎」も紹介される予定です。

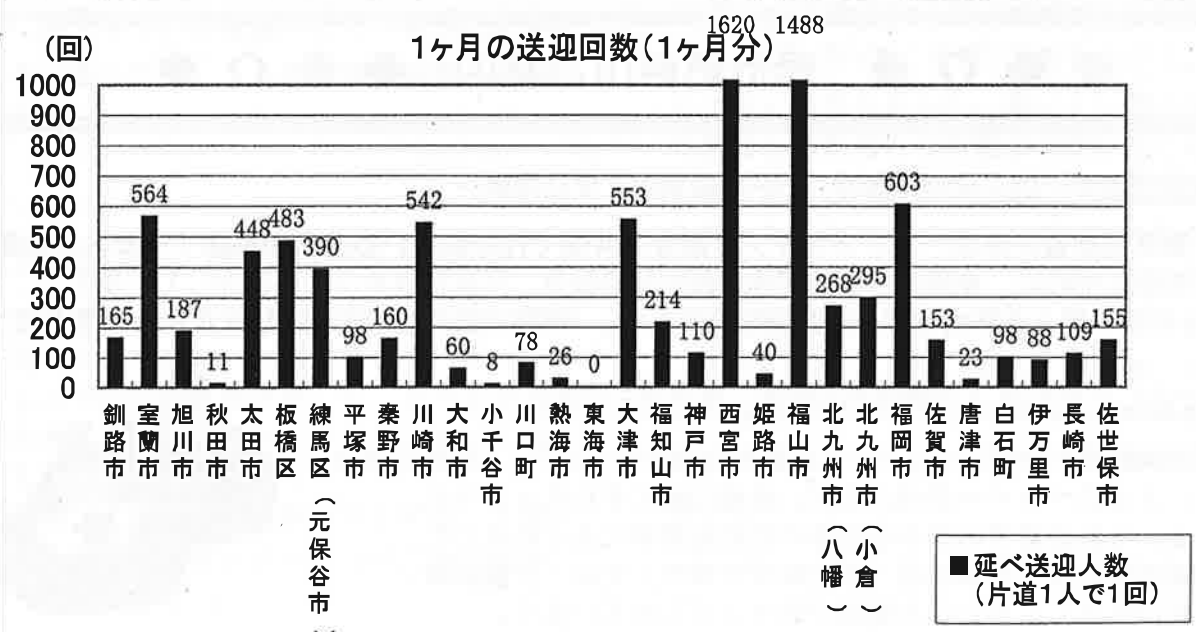
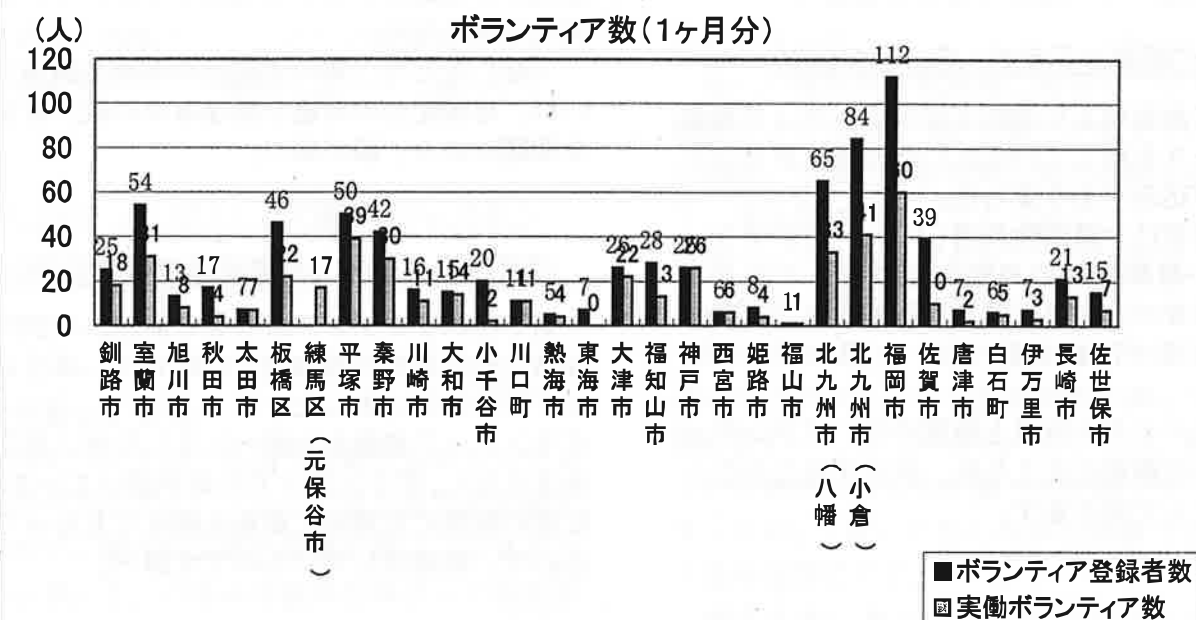
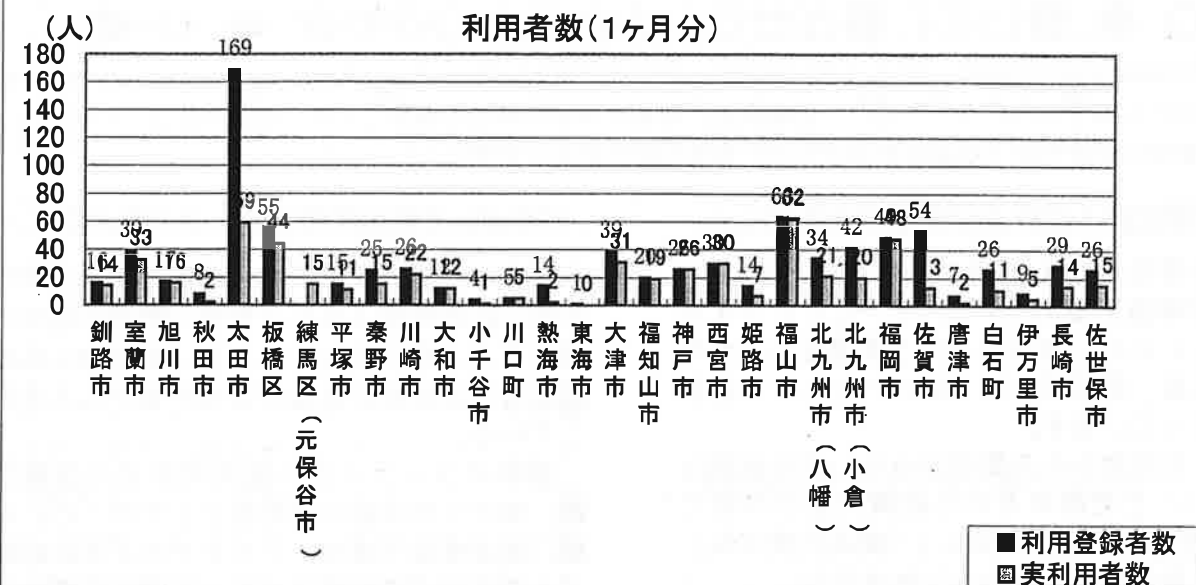
② めまぐるしく変わる〔介護関連の輸送・移送サービス〕

「介護保険適用の介護タクシー」「非営利の移送サービス」「介護保険のヘルパーによる白ナンバー送迎」など、各地で出てきたサービスのスタイルと、それに対する国や自治体の対応を簡単にまとめました。

東京交通新聞記事「介護移送・法定給付を検討」では、介護保険施行 5 年後の見直しについての論議が取り上げられています。



2002年1月分



※大津市、西宮市、福山市は5人以上乗れる車両による巡回送迎です。